

別記様式（第3条関係）

会 議 録（1）

会議の名称	令和5年度桶川市公民館運営審議会第1回定例会	
開催日時	令和5年4月24日（月） （開会）午前9時30分（閉会）午前11時15分	
開催場所	桶川公民館 大集会室	
議長	佐藤 博 委員長	
出席委員	委員長 佐藤 博、副委員長 石田 文子 委員 矢澤 等、小高 恵美子、加藤 和子、宮崎 和也、 湯浅 哲朗、梅原 とも子	
事務局職員 職名及び氏名	桶川公民館長 兼 川田谷公民館長 粒良紀夫、主任 増山 幸子、主事 山本 栞 桶川東公民館長 森田光昭、主任 江原雅浩、主任 三上藍 加納公民館長 三谷秀利、主任 大内淳、主任 関根豊、 主任 加藤潤也 川田谷公民館 主査 片岡賢、主任 三村紋子、 主任 岡田実紗子	
会 議 事 項	議 題	(1) 前回会議録の承認 (2) 報告事項 ① 人事異動について ② 令和4年度講座実績について (3) 令和5年度講座年間計画について
	協議事項	なし
	その他	・ 公民館運営審議会委員関係の会議について
	決定事項	議事1 承認
配布資料	会議次第及び説明資料（資料1～4及び参考資料）	

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
公民館長	定足数に達しておりますので、ただ今から令和5年度第1回桶川市公民館運営審議会を開催いたします。お手元に配布しております次第にしたがって進めさせていただきます。
	次第2 あいさつ 桶川市教育委員会教育長 桶川市公民館運営審議会委員長
委員長	新年度になりました。本日の審議も活発なご意見をよろしくお願いいたします。 桶川公民館長
公民館長	ではこれより議事の進行を委員長にお願いしたいと思います。
委員長	それでは、議長を務めさせていただきます。 次第3議題(1)前回会議録の承認 委員の皆さんからの承認を求めます。
委員	承認
委員長	ご承認いただきましたので会議録をホームページに掲載します。
委員長	それでは(2)報告事項①人事異動について説明願います。
事務局	【資料1】に基づき説明 何か質問等ございますか
委員	特になし
委員長	次第3(2)②令和4年度講座実績について説明を求めます。 【資料2】
事務局	令和4年度桶川東公民館実績表になりますが、25講座を開催しました。各担当にも頑張ってくださいましてバラエティに富んだ、充実した内容の講座を開催することができたのではないかと思います。
事務局	加納公民館ですが、20講座開催しました。アンケートの結果どの講座も好評だったところです。

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>総括となりますが、開催事業の概要をご説明します。</p> <p>I 講座開催事業の概要</p> <p>1 講座開催数の推移ですが「ひなまつりスタンプラリー」は講座ではないのでカウントとしてはプラス1と別表記しております。コロナ感染症の影響で、令和元年度末前後から企画していたものが実施できなかつたことが続きましたが、募集人数を半分以上にするという対応をしてまいりました。昨年度は川田谷公民館が7月から閉館しておりますが、ほぼ例年と変わりなく4,000人を超える方々に参加いただき実施できました。</p> <p>2 幼児・家庭教育セミナーにつきましては、第5次総合振興計画では200人の目標設定としておりますが、低迷が続いております。このことから、共働きの夫婦も参加しやすいように平日から日曜日に変更し、定員20人×全10回として開催しました。12人の参加があり、講座は、自分の時間の作り方や自身の成長について、あるいは子どもとの接し方についてといったことを内容に実施しました。</p> <p>3 ふれあい学級は、コロナ渦により令和2年度から募集人数を従来の定員の半分に設定しておりますが、大変人気があり、毎年満員となっております。</p> <p>II 講座事業の開催傾向</p> <p>(1) テーマ性をもった企画として、①『今日から始める！「人生100年時代」のための講座』として、桶川公民館、東公民館において3講座を行いました。②夏休み子どもワールドでは今年度、電子申請による受付を実施しました。③「子どものために大人が学ぶ講座」は、去年は子ども食堂を取り上げましたが、今回は読み聞かせをテーマに行いました。</p> <p>(2) 全4館で同一内容のヨガ講座を実施し、その後2か所でサークルが発足しました。ひなまつりスタンプラリーは、公民館並びに観光協会等にスタンプを設置し、各館ではサークルによる「ひなまつり」にちなんだ展示をして、サークルの紹介と公民館の場所を知ってもらうという事業を行っております。</p> <p>(3) 公民館は、皆さんが集まることも目的とする社会教育施設ですので、複数回にわたる講座を行うことによって、その役割を果たしていこうと企画しました。</p> <p>(4) ここ数年力を入れております共催事業ですが、夏休み子どもワールドの梨ジャムづくりでは農政課及び健康増進課保健師に講師を依頼しました。また、幼児・家庭教育セミナーにおいても保健師に講師をしていただきました。ボランティア団体「桶川ITネット」とは、パソコンルームが移管となった東公民館にてパソコン講座を行いました。ジュニアリーダーズにも</p>

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局 (続 き)	<p>引き続き夏休み子どもワールドにご協力いただきました。東洋大学とは同大学の講師派遣制度を活用しヨガに学ぶメンタルヘルス講座を実施。桶川西高校とは毎年恒例になっております水族館見学講座を実施しました。坂田コミュニティセンター管理団体とは3月にコンサートを共催しました。図書館指定管理者とは、講座のテーマに沿ったブックリストの作成や、幼児・家庭教育セミナーの読み聞かせにご協力いただきました。また、明治安田生命保険相互会社は全国の公民館とタイアップし地域を元気にしようという取り組みを行っておりますが、前述の「人生100年時代」のための講座を共催事業として行いました。今後も共催事業を広げていきたいと思っております。</p> <p>(5) 令和元年度より行っております既存サークルの活動支援「笑来楽習」企画を今年度も実施しました。</p> <p>(6) 仕事帰りの方にも公民館を利用させていただきたいと企画したアロマ講座は、駅から近い桶川公民館で全2回実施し、サークルが発足しました。</p> <p>(7) 中学校社会体験チャレンジ事業として3日間に渡って中学生を受け入れ、公民館利用の少ない中高生をターゲットとした講座と一緒に企画しました。加納中学校女子生徒による企画を元に、手芸講師と市内の美容師を公民館で選定し、シュシュづくりとヘアアレンジの講座を行いました。お越しいただいた2名の美容師のうち1名は同中学校OGで、社会人としての姿をみていただきました。東中学校は、男子生徒が企画し、シュークリームをクリームを変えてアレンジを楽しむ講座をパン職人の方に依頼をして実施しました。桶川中学校の企画ですが、音楽ゲームやVR体験をする講座を実施する予定です。単なるゲーム大会とならないよう、SNSやフィッシングサイトの関係など、リテラシー教育も混ぜながら実施していくという計画をしているところです。</p> <p>(8) 子育て世代に向けた講座については、先ほどお話しした幼児・家庭教育セミナーを全10回実施しました。</p> <p>Ⅲ 昨年度課題への対応と今年度の施策</p> <p>①安心して参加できる講座の提供については、十分な換気、消毒を行うことで部屋利用や講座募集の人数を増やすことができると現時点では考えております。</p> <p>②川田谷公民館大規模改修工事について、ウクライナ情勢やコロナ関連の影響もありましたが、順調に進んでおり、10月末の引き渡しを今のところ予定しております。図書館も含め準備期間が必要ですが、引き渡し後、内覧会を行い、引っ越し作業を経てリニューアルオープンという段取りを考えております。</p>

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局 (続き)	<p>③について、公民館に出入りしている方々のみからでは現代的な課題をとらえ解決に至るといのは難しい。もう少し掘り下げていきたいと思っております。</p> <p>④職員の意欲、資質向上については、徐々に日常を取り戻しつつありますが、なかなか人と気軽に話ができる機会が奪われている状況です。このような中ではありますが、新たな試みとして民間企業や大学との共催事業など、努力を重ねております。引き続き取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>⑤参加者目線の講座開催については、開催時期や時間帯によって講座に参加できないという方に向けて、夜間開催や、平日から土日に変更しての開催などの試みの中で、サークル化に結びつきました。</p> <p>⑥新たな枠組みによる講座開催については、民間企業や新たな大学とのコラボレーションなど、情報の取集・蓄積から、社会教育施設として私たちが考えるテーマに合った人選、内容の打ち合わせを行い、それぞれの講座を企画・実施しております。</p> <p>⑦既存サークルへの支援としましては、3月に行ったミニコンサートには12団体に参加していただき、総勢400名弱の集客がありました。今後も続けていきたいと思っております。</p> <p>IV 今年度の施策</p> <p>①第六次総合振興計画が4月から、10年間に及ぶ計画の前期5年間でスタートしております。公民館の記述は、「施策104生涯学習・生涯スポーツの充実」というところだけですが、本市の将来像として描かれている「学び豊かな 笑顔あふれる 幸せ未来都市おけがわ」を目指すうえでは、公民館は全ての施策に係るということから、関係各課と協議し、皆さんと一緒にできるものを考えていきたいと思っております。</p> <p>②川田谷公民館リニューアル後の体制についてですが、これまで「川田谷生涯学習センター」という建物が公民館と歴史民俗資料館、図書館の複合施設であることから、川田谷公民館職員に歴史民俗資料館との兼務辞令が出ておりました（図書館は既に指定管理に）。令和4年度の組織改正に伴い、歴史民俗資料館が文化財課の教育機関に位置づけられたことから、今年度から公民館4館を1つの組織として考えていくという方針に変わりました。市内4カ所に設置されております公民館は、地域ごとに抱えている課題や利用者の方々があり、また、川田谷公民館はスポーツホール、視聴覚ホール、陶芸ができる部屋など機能別部屋構成を特徴としていることから、情報提供や情報共有によって、今後は4公民館が一体となり講座の企画・運営や課題解決に取り組んでいけるものと考えております。</p>

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局 (続き)	<p>③電子申請による受付につきましては、昨年度初めての試みとして夏休み子どもワールドにおいて実施してみましたが、対象者によって受付方法を変える必要があるのではないかと考えています。確認作業等大変ではありますが、申し込みがしやすいというメリットがありますので、今後も導入を図っていきたいと思っております。</p> <p>④PR 方法については、若い世代は広報を見ていないため、その世代をターゲットに講座を企画して募集する際に、保育所や子育て支援センターに参加を呼び掛けて、そこからの申し込みがあったりしました。なるべく時間をかけずに、かつ効果的な周知方法について、こちらを今後の課題と感じております。</p> <p>⑤これまで特別な教育的配慮が必要な児童生徒に対して、公民館としては、夏休み子どもワールドも含め、特段のアプローチをしてこなかったところです。どういったことができるのか、今年度、新たな試みとして、学校の担当含め、これから検討を重ねたいと思っております。</p>
委員長	ご意見等ございますか。
委員	公民館の事業が多岐にわたり、他の団体との連携も含め、幅のある取り組みをしているなと感心しながら聞いておりました。中高生の参加は、なかなか難しいのだなと感じておりますが、子供たちの中からアイデアを出してもらおう講座はとても大事だと感じておりますので、引き続きお願いします。また、特別な配慮を必要とする子たちが公民館でどういう風に社会と触れ合っていくのか、大事な視点だし、今まで取り組めてこなかったところですが、今日的な課題になっていくのではと思います。難しいことは色々あるかと思いますが、ぜひとも進めていってほしいと思います。ジュニアリーダーも特別な配慮を要する子たちと何か関わり合いを持てるといいなと思っております。
委員	公民館でヨガを始めた方が、目に見えて体が柔らかくなっていて、「ヨガを続けてるから」と言い、いいなあと思いました。公民館の手柄だと思います。
委員長	社会教育と公民館という言葉が色んな面に出てきましたが、学校教育という点でご意見ございますか。
委員	学校では、児童生徒がマスクの有無によって偏見、差別が生じないよう、校長自らがマスクを外しておりますのでよろしく申し上げます。先ほど教育長から、第六次総合計画の将来像の一

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員 (続き)	<p>番初めに「学び豊かな」というのがきたというところに喜びと合わせて責任を感じました。公民館も同じかなと思います。続いて「笑顔」「幸せ」「未来」と前向きな言葉があって、これをぜひ、学びの先に笑顔や幸せや未来があるというところを意識しながら進めていきたいと思います。コロナ禍の中にあっても毎年講座を設定していただきありがとうございます。やはり子どもの居場所があるということ、楽しく学ぶということが、子どもワールドにはあるのかなと思っています。令和4年度は、市の方針としても学びを止めないというのをキーワードに進めてきたところで、川田谷公民館が7月から休館しているのにもかかわらず参加総数が4,000人超と倍増し、素晴らしいなと思っています。中学生社会体験チャレンジ事業の中で中学生が考えた講座を取り入れたことは、受け身であった中学生が、能動的な、また主体性へとつないでいただき、大変意義深いなど。もしかしたら「公民館に行ってよかったよ」と後輩に伝えて、自分たちでやりがいを持って参加ができる生徒が増えていくのではと感じました。非常に感謝いたします。最後に⑤の特別支援担当にぜひPRしていきたいと思います。実は、学校は特別支援学級に所属している児童生徒と、通級指導教室という通常学級に所属していながら、それぞれに配慮が必要な児童が、自分の課題をみつけたり生きづらさを乗り越えたりするような指導を受けている児童生徒がいます。そういった子どもたちにスポットを当てた企画を考えていただき、非常に嬉しく思います。</p>
委員	<p>各公民館の様々な企画が子どもたちや若い層に活用されればいいなと思いました。マスクの件ですが、下校の見守りをしておりまして、子供たちが暑い暑いと言うので、マスクを外したらと言うのですが、外す子がいないので心配になります。また、地域の方に広報にこういう講座がありますよ、申し込んでください、とお話ししていただき、参加する方が多くなりました。非常に嬉しく思っております。</p>
委員	<p>施策104の件で、自分も公運審委員として携わるようになってから色々勉強させていただくようになりました。自分自身も生涯学習に関連する英語勉強クラブや生涯学習スポーツに関連するラケットテニスクラブを通じて、また今後関わる放課後子供教室を通じて、桶川市第六次総合計画に少しでも貢献ができるかなと感じました。</p>
委員	<p>コロナ禍によって人との対話や関わりが少なくなっている</p>

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員 (続き)	世の中になってしまったので、公民館活動を通して対話や関わりが増えていったらいいなと思います。交通指導員をやっておりましたが、新学期になったらマスクを外そうと思っていましたが、子どもたちがみんな着けているので外せなくなりました。次の週には校長先生から「外しました」と聞き、今週から私も勇気を持って外しました。子どもたちもちらほら外している子も見かけるようになりました。
委員	たくさん講座を実施していただいておりますが、終わった後どうでしたかと、公民館ニュース新聞みたいなものを作成していただけないかと、予算の都合等もあるかと思いますが、よろしくお願いします。
委員長	次第 3 (3) 令和 5 年度講座年間計画について事務局より説明願います。【資料 3】
事務局	「夏休み子どもワールド」については、今年度も毎日どこかの館で講座をやっているという状況をつくる予定です。東公民館では、昨年度下半期から移管となったパソコンルームを活用してボランティア団体「桶川 I T ネット」との共催で、デジタルデバイス解消に向け、パソコンの基礎講座から積極的に行う予定です。複数回に渡る講座というのは受講者間にコミュニケーションが生まれ、そこでのコミュニティも生まれる効果が高いと思いますので、講師との打ち合わせの中で今年度も考えていきたいと思っております。ふれあい学級は 7 月から約 4 か月です。「中学生企画」についてですが、今年度も 7 月に加納中、9 月に桶川西中、10 月に桶川東中、11 月に桶川中の社会体験チャレンジ事業の受入れを予定しておりますので、また一緒に考えていきたいと思っております。なお、桶川西中は桶川公民館で受け入れをしようかと思っております。
委員	東公民館でジャズライブを今年度も実施予定とのことですが、どういった内容ですか。
事務局	令和 4 年度は、ビックバンドの O P W (一般団体) の演奏、桶川出身のジャズボーカリストとのコラボレーションで行いました。今年度もそのような方々に依頼する予定です。
委員	過去に県民活動センターでジャズに関する講座を連続でやっていた時期がありました。ジャズってアメリカの歴史・文化と密接に関わっていて、ジャンルとしては娯楽でありながら理屈っ

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員 (続き)	<p>ばいところがあるかと。そこの骨組みを理解するのとしないとではそのあとの鑑賞がぜんぜん違ってくる、というこのを経験しているのでは、ただ演奏だけではなくて何かそれを理解するための文化的にも音楽的にも、その手立てになるような講座があると嬉しいなど。レコード鑑賞というような形式でもよいので今後の方向として考えていただけるとありがたいです。</p>
委員	<p>中学生向け講座というのは、ニーズを見出していくのにご苦労があるかと思いますが、生涯学習に非常につながる形かなと。今タブレットなどの疑似体験で終わっていることもあるので、体験そのものが少なくなってきました。物を作ったり、自分で活動したりすることに子どもたちは満足感があるので、企画によっては予算等の都合など難しい部分もあるかと思いますが、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>「カリンバ講座」と「クイリングアート」とはどんなものですか。</p>
事務局	<p>カリンバはアフリカの楽器で、親指で弾くとオルゴールのような音がします。コロナ禍で家にいることが多くなったことから、手に入れた人が大勢いると聞いています。クイリングアートは、紙の断面を見る側にして組み合わせる模様などを作るものです。紙を貼るのではなく、平面で作るのでもない、立体的に断面で模様を作るようなアートになります。</p>
委員	<p>新しいことに挑戦するのは楽しいことなので、いいですね。</p>
委員	<p>「SDGs 蜜症の梨で紅茶ゼリー講座」はどんな内容ですか。</p>
事務局	<p>お盆の時期になると茶色く変色したり、家の冷蔵庫に入れておくと透き通ってしまったりする梨は、風味が変わるだけで味はあまり変わっていないそうなんです。それは市場に出せない梨で、お盆過ぎになると出るという話なので、それを使って何か活用できないかと、今年の梨ジャムづくり講座の際に生産農家さんから直接お声がけいただき、実現できるよう計画中です。</p>
委員	<p>一回広報等に出ることによって、大丈夫なんだ、お店には出なくても食べられるんだ、というきっかけがあれば、べに花ふるさと館などに置いてもらえれば買う人もいるのでは。</p>
事務局	<p>4月15日、16日に開催した第44回桶川東公民館サークル発</p>

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局 (続き)	表会ですが、雨だった一日目は来場者が少なかったが、二日目は晴天に恵まれました。来場者は合計で421名でした。昨年よりも少し減りましたが、特にステージ発表は盛り上がっております。なお、5月27日、28日には第36回桶川公民館サークル発表会を予定しております。
委員	発表者側として参加しました。各参加団体が来場者受付を当番制で行うのですが、あの時間が交流できる時間でした。彩桜会という油絵を描く団体と同じ時間に受付担当を行いました。これまで関わったことがなく、アクリル画と油絵どう違うなど疑問について説明が聞けたりと楽しい時間になりました。一緒にサークル発表会を自分たちが作っていくという意味でもとても良いことだなと感じました。
委員長	次第4 その他 公民館運営審議会委員関係の会議について説明願います。
事務局	【資料4】に基づき説明
副委員長	<p>次第5 閉会 副委員長あいさつ</p> <p>貴重なご意見、たくさんの公民館事業の報告と、これからの計画について色々いただきましたけども、基本的なことは孤独な人を一人でも少なくするということだと思います。3月26日の「子どものために大人が学ぶ講座」で公民館職員がファシリテーターを務め、講座をやらせていただいたのですが、その時もお子さん方が意外と孤独を感じているなという実感を受けました。子育てをされている方の中には、子どもと二人きりで向き合っているという方もいらっしゃると思いますので、決してあなた一人じゃないよ、みんながついているよというような、後押しができる公民館活動ができれば本当に素晴らしいのかなと思います。そして若い方だけではなくて、私たちのような高齢者も日々孤独を感じるような年代になりましたので、好きなことを通じて出会える仲間、そういった人々との触れ合いがこれからもますます多くなって、桶川市の発展につながっていけばいいと思っております。本日はありがとうございました。</p>
公民館長	以上を持ちまして、本日の審議会の議事はすべて終了いたしました。これにて、令和5年度第1回桶川市公民館運営審議会を閉会といたします。本日はありがとうございました。